

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の396億1,603万円に比べ、6億6,316万1千円、1.7%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	令和元年度 当初予算額 (A)	平成30年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	7,102,419	7,259,909	△157,490	△2.2
水 道 事 業	15,666,748	15,199,612	467,136	3.1
工業用水道事業	15,308,064	14,507,405	800,659	5.5
電 気 事 業	2,201,960	2,649,104	△447,144	△16.9
合 計	40,279,191	39,616,030	663,161	1.7

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 770床

(イ) 患者数

	年 間	1 日平均
入院患者数	213,012 人	582 人
外来患者数	167,996 人	689 人

イ. 収益的収支 収入 5,285,041千円 資本的収支 収入 1,391,940千円
支出 5,287,636千円 支出 1,814,783千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が29億4,440万8千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が23億4,063万3千円で、合わせて52億8,504万1千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が51億2,747万5千円、支払利息等の医業外費用が1億6,016万1千円で、合わせて52億8,763万6千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、令和元年度は259万5千円の経常損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債3億9,670万円や県費負担金3億9,524万円など、合わせて13億9,194

万円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億3,464万3千円や企業債償還金6億8,654万円など、合わせて18億1,478万3千円を計上しています。

ウ. 令和元年度の事業運営

県立こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、県立一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組など、また、県立志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療機能の回復・充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めるなど、県民の皆さんに安全で良質な医療を提供していくとともに、引き続き経営改善に努めていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 72,907,020m³

1日平均給水量 197,580m³

イ. 収益的収支	収入	9,617,670千円	資本的収支	収入	1,938,907千円
	支出	9,390,271千円		支出	6,276,477千円

収益的収入は、給水収益87億4,590万7千円及びその他営業収益を合わせた営業収益87億6,113万8千円と長期前受金戻入7億8,380万6千円等の営業外収益8億5,653万2千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用88億2,748万9千円と支払利息等の営業外費用5億6,078万2千円が主なものです。

以上の結果、3,110万2千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金3億8,940万2千円と長期貸付金償還金11億5千万円が主なものです。

資本的支出は、中勢水道改良費等の建設改良費40億4,969万円、企業債償還金等の償還金22億2,678万7千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、中勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	R元	70,202	70,202	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R元	1,651,535	1,651,535	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R元	1,681,663	1,681,663	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R元	600,449	600,449	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	91社
(イ) 年間総給水量	217,093,740m ³
1日平均給水量	594,777m ³

イ. 収益的収支	収入 6,238,086千円	資本的収支	収入 5,712,219千円
	支出 6,021,560千円		支出 9,286,504千円

収益的収入は、給水収益56億2,544万6千円及びその他営業収益を合わせた営業収益58億6,334万8千円と長期前受金戻入3億6,648万7千円等の営業外収益3億7,473万8千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用57億1,965万1千円と支払利息等の営業外費用2億9,990万9千円が主なものです。

以上の結果、3,287万9千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債51億9,100万円と一般会計出資金2億7,600万9千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費80億4,006万4千円と企業債償還金12億4,644万円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	R元	38,215	38,215	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R元	7,534,011	7,534,011	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R元	213,489	213,489	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R元	98,340	98,340	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、三重ごみ固形燃料発電所において、RDF焼却・発電施設等の安全・安定な運転により発電された電気を電気事業者等に供給しています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 21,684,006kWh

イ. 収益的収支 収入 741,550千円 資本的収支 収入 500,000千円
支出 2,201,960千円 支出 一千円

収益的収入は、電力料3億3,947万6千円及びその他営業収益を合わせた営業収益6億6,658万5千円と特別利益5,367万1千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、委託料、修繕費等の営業費用19億4,270万3千円と特別損失2億4,449万円が主なものです。

以上の結果、13億7,614万円の当期純損失を計上しています。

一口メモ

●収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。

●資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。